

川の流れとともに歩む 戸田の歴史

古くから、荒川がもたらす恩恵により
肥沃な大地が育まれていた戸田の地。

弥生時代には人が暮らし始めたと言われ、
江戸時代には「戸田の渡し」で栄えました。
川の流れとともに発展してきた戸田のまち。
その歴史の流れをのぞいてみましょう。



浮世絵『戸田川渡場』

Ukiyo-e, "The Toda River Crossing"
浮世絵「戸田川渡場」

江戸時代後期の浮世絵師、けいさいえいせん 漢斎英泉による版画『木曾街道 蕨之駅 戸田川渡場』。中山道を往来する人々で賑わった戸田の渡しの様子がうかがえます。参勤交代の大名行列が通過する際には、周辺の村人も総出で渡しの仕事にあたったといわれています。

戸田市誕生以前

現在の戸田市の地域は、江戸時代には幕府の御領地として六つの村があり、將軍家の鷹場が設けられていました。また、中山道と荒川が交差する場所には「戸田の渡し」があり、この街道を行き来する人々で賑わいました。

明治時代になると、廃藩置県によって埼玉県が誕生し、村の管理は知事が任命する戸長こまちょうによって行われるようになりました。また、明治8（1875）年には初代の戸田橋（木造）が完成しました。
大正元（1912）年には2代目戸田橋（木造土橋）へと、昭和7（1932）年には3代目戸田橋（トラス型鉄橋）へと造り替えられていきます。

Meiji - Taisho Periods

During the Edo Period, there were six villages and falconry fields in the area of today's Toda City. A boat station was located in the intersection of Nakasendo Highway and Arakawa River which was bustling with people.

Saitama Prefecture was established during the Meiji Period, and the first Toda Bridge (wooden) was completed in 1875.

Since the Taisho Period, the bridge has been replaced by the second Toda Bridge (wooden bridge) in 1912 and the third Toda Bridge (truss iron bridge) in 1932.

明治至大正期間

在今天的戸田市地区，江戸时代曾有6座村庄和鷹場，并且在中山道と荒川交汇的地方，还有名为“戸田之渡”的渡口，鼎盛一时。

明治时代设埼玉县之后，1875年建成了第一座戸田桥（木造）。

进入大正时代以后，戸田桥又经历了2次重建，第2代戸田桥（木造工桥）建于1912年，第3代戸田桥（桁架铁桥）建于1932年。



木造の戸田橋

Toda Bridge (wooden)
木造戸田橋

明治8（1875）年に完成した初代の戸田橋です。様々な工法が検討されましたが、木製での建造に決定。江戸時代を通じて賑わった戸田の渡しは、橋の完成によってその歴史に幕を閉じました。

（宮内庁書陵部所蔵）



この時代の主なできごと

- 明治6（1873）年
美女木学校、新曾学校が開校。以後、笹目学校、戸田学校（明治7年）、上戸田学校（明治10年）などが開校
- 明治8（1875）年
戸田橋（初代）が完成
- 明治43（1910）年
大洪水が発生
- 大正年間
笹目村の「はやり神」が話題となり、県内はもとより、東京、千葉、群馬方面などから参拝者が訪れ、賑わう
- 大正12（1923）年
関東大震災が発生。戸田橋を通過して多くの人々が避難

荒川堤改修工事

Repair work at Arakawa bank
荒川堤改建工程

荒川は、秩父などの上流の山地で大雨が降るたびに氾濫していました。大正7（1918）年に始まった「荒川第2期改修工事」によって現在の堤防の工事がスタートしました。

戸田市誕生へ

荒川は「荒ぶる川」が語源と言われるほど洪水が多く、流域の治水は戸田の地域にとって大きな課題でした。昭和10（1935）年には「三領排水路工事」がスタートします。その副産物として計画されたのが戸田ボートコースです。昭和15（1940）年開催予定だった第12回東京オリンピックに合わせて建造されましたが、戦争によってオリンピックは中止となります。

終戦後、戸田市の地域では新たな政治制度のもと、学校などの公共施設が整えられていきます。昭和32（1957）年には美笹村と合併し、昭和41（1966）年には戸田市が誕生しました。埼玉県内では24番目となる市制施行でした。

Taisho - Showa Periods

Arakawa River was prone to flooding. Therefore, in the early Showa Period, construction work began on the Sanryo drainage canal to prevent flooding in the basin. The Toda Boat Course that was created by harnessing this construction work was supposed to be utilized for the 1940 Tokyo Olympic Games. However, the Olympic Games were cancelled due to World War II. Following the end of the war, public facilities such as schools were developed, and Toda City was founded in 1966. It became the 24th city to be municipalized in Saitama Prefecture.

大正至昭和期間

荒川多发洪水。进入昭和时代以后，开始了“三領排水道工程”以治理该流域的洪灾。利用工程之便而建造的戸田划艇赛道，原本打算在1940年东京奥运会中使用，但该届奥运会由于战争原因而中止了。
二战结束后，本地区建造了学校等公共设施，并于1966年成立了戸田市，为埼玉县内第24个建市的地区。



東京オリンピック

Tokyo Olympic Games 1964
1964年东京奥运会

昭和39（1964）年に開催されたオリンピック東京大会。戸田ボートコースは漕艇競技の会場に選ばれ、5日間で27カ国380人の選手たちが熱戦を繰り広げました。

HISTORY of TODA



戸田ボートコース完成

The Toda Boat Course is completed
戸田划艇赛道建成

昭和15（1940）年に開催予定だった第12回東京オリンピックに合わせて、同年に完成した戸田ボートコース。当時の規模は幅70m、長さ2,300m、深さ3mでした。



市制施行祝賀式典

Toda City's Municipalization Ceremony
建市庆典

昭和41（1966）年10月1日、戸田市の市制施行祝賀式典が戸田東中学校で挙行されました。当時の人口は55,110人（15,061世帯）でした。

この時代の主なできごと

- 昭和15（1940）年 第12回オリンピックのため戸田ボートコースが完成
- 昭和16（1941）年 戸田村、町制を施行。翌々年、笹目村と美谷本村が合併し、美笹村に
- 昭和17（1942）年 笹目橋（木製）が完成
- 昭和20（1945）年 アメリカ機による攻撃が激化。8月、終戦
- 昭和29（1954）年 第1回県営戸田競艇開催
- 昭和39（1964）年 第18回オリンピック東京大会開催。戸田ボートコースで漕艇競技を実施
- 昭和40（1965）年 第10回国勢調査で人口が5万人を超える
- 昭和41（1966）年 市制施行（県下24、全国561番目）
- 昭和43（1968）年 三領樋門排水場完成（毎秒10トン1基）
- 昭和45（1970）年 新庁舎落成

大正 昭和 期



埼京線一番電車

First train on the Saikyo Line
埼京線首班电车

昭和 60 (1985) 年、市民待望の通勤新線 (埼京線) が開通しました。市内には、戸田公園駅・戸田駅・北戸田駅の3駅が開設され、東京への通勤が格段に便利になり宅地化が進みました。

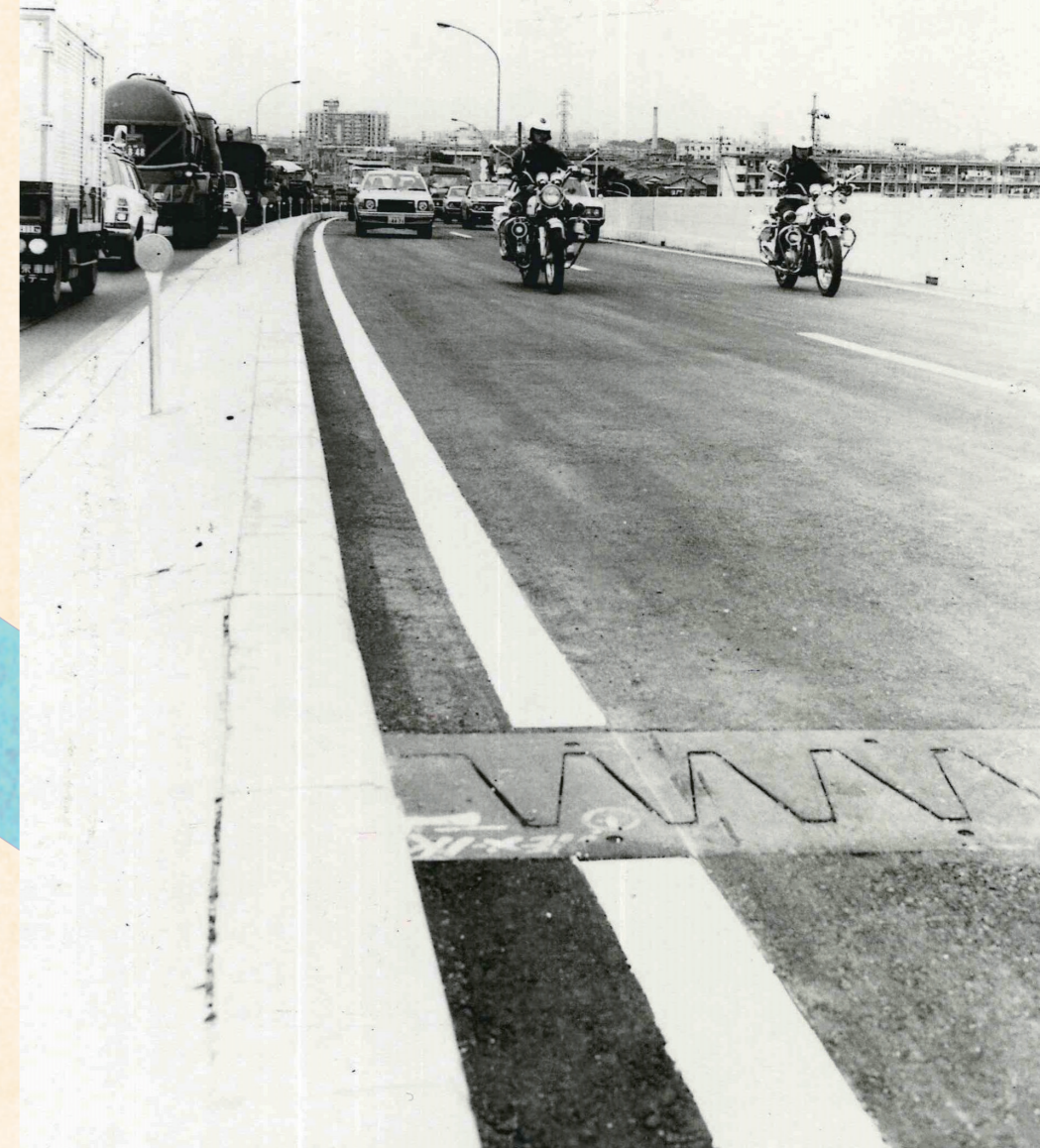


HISTORY of TODA

新戸田橋開通式

Opening ceremony for the
New Toda Bridge
新戸田桥开通仪式

昭和 53 (1978) 年、戸田橋の上り線が開通し、全面開通が実現しました。また、その前年の昭和 52 (1977) 年には新笹目橋が開通。荒川を越える交通網の利便性が大幅に向上しました。



この時代の主なできごと

- 昭和 50 (1975) 年
第1回「戸田ふるさと祭り」開催
- 昭和 52 (1977) 年
新笹目橋が開通
- 昭和 53 (1978) 年
新戸田橋上り線が開通 (全面開通となる)
- 昭和 55 (1980) 年
スポーツセンターオープン
- 昭和 58 (1983) 年
図書館オープン
- 昭和 59 (1984) 年
中国開封市と友好都市締結
郷土博物館オープン
- 昭和 60 (1985) 年
埼京線開通、市内の3駅が開業
- 平成元 (1989) 年
道満グリーンパーク全面完成
- 平成4 (1992) 年
オーストラリアリパブル市と姉妹都市締結
- 埼玉県美里町と姉妹都市締結
- 東京外かく環状道路開通 (和光〜三郷間)
- 平成5 (1993) 年
首都高速板橋戸田線が開通
- 静岡県戸田村・福島県大信村と姉妹都市締結



Showa - Heisei Periods

Toda City began to assume a transit corridor role from the Showa to the Heisei Period. The Sasame Bridge opened in 1963, the New Sasame Bridge opened in 1977, and the inbound lane on the New Toda Bridge opened in 1978. A new commuters' rail line (Saikyo Line) opened in 1985, making commuting to Tokyo more convenient. The Bijogi Junction that fully opened in 1998 improved distribution convenience and spurred economic development in Toda City.

昭和至平成期間

从昭和进入平成时代期间, 户田市一直担负着作为交通要道的重要职能。1963年笹目桥开通, 1977年新笹目桥开通, 1978年新戸田桥上行线开通。1985年, 又开通了通勤新线 (埼京线), 提高了通勤的便利性。1998年, 美女木枢纽立交全面投入使用, 更加方便了物流的运输, 进一步推动了户田市的经济发展。

日本の経済が高度成長を遂げていく中、戸田市は東京と地方を結ぶ交通の要衝としての役割を担っていきます。

昭和38(1963)年には大宮バイパスの笹目橋が起工され、昭和52(1977)年には新笹目橋が、昭和53(1978)年には新戸田橋上り線が開通し、荒川を越える道路網が拡充されていきました。

昭和60(1985)年には戸田市民にとっての念願だった通勤新線(埼京線)が開通。市内には3駅が開設され、都心へ通勤する利便性が大幅に向上しました。

東京外かく環状道路、首都高速埼玉大宮線の整備も進められ、平成10(1998)年には、これらの高速道路が交差する美女木ジャンクションの全面運用が開始されました。物流面でも利便性が高まり、戸田市内の経済発展に拍車がかかりました。

交通の要衝へ

美女木ジャンクション開通

Opening of Bijogi Junction
美女木枢纽立交开通

平成4(1992)年に東京外かく環状道路の和光・三郷間が開通し、平成5(1993)年には首都高速5号池袋線が交わり、美女木ジャンクションの部分的運用がスタート。平成10(1998)年に首都高速埼玉大宮線が開通し、美女木ジャンクションの全面運用が始まりました。



平成期～現在



戸田公園駅前行政センターオープン

Toda-Koen Station Administrative Center opened
戸田公園駅前行政中心开放

平成 22 (2010) 年、戸田公園駅前行政センターを開設しました。住民異動届出や各種証明書の交付など、本庁業務の一部を取り扱う窓口が設けられ、利便性が向上しました。平成 24 (2012) 年からはパスポートの申請・交付手続きも始まりました。

上戸田地域交流センター (あいパル) オープン

Kamitoda Community Exchange Center (Ipal) opened
上戸田地区交流中心开放

平成 27 (2015) 年、上戸田地域交流センター(あいパル)がオープン。福祉センター、公民館、男女共同参画センターといった機能に図書館分館を統合させた複合施設です。市民向けの各種講座も開催されています。



福祉保健センターオープン

Welfare and Health Center opened
福祉保健中心开放

市民の健康づくりを支援する施設として、平成 23 (2011) 年にオープン。乳幼児から成人の方までの健診や、健康教室・相談、家庭訪問などの保健事業の実施などに加え、保健活動の政策立案も行います。



初代 toco

The inaugural toco community bus
第一代 toco

平成 13 (2001) 年、コミュニティバス toco (トコ) が運行を開始しました。市民の身近な足として市内各エリアの駅や公共施設、病院などの拠点間を結びます。現在は5路線の運行が行われています。



HISTORY of TODA

この時代の主なできごと

- 平成 8 (1996) 年
人口10万人を突破(県下18番目)
- 平成 10 (1998) 年
戸田市都市マスタープラン決定
- 平成 13 (2001) 年
コミュニティバス toco (トコ) 本格運行開始
- 平成 18 (2006) 年
ボランティア・市民活動支援センターオープン
- 平成 19 (2007) 年
福島県白河市と友好都市締結
- 平成 22 (2010) 年
戸田公園駅前行政センターオープン
- 平成 23 (2011) 年
福祉保健センターオープン
- 平成 27 (2015) 年
児童センターこどもの国リニューアルオープン
上戸田地域交流センター(あいパル)がオープン

Heisei Period - Present

Efforts are being made to make Toda City an even more livable city. In 2001, the toco community bus service started. In 2010, Toda-Koen Station Administrative Center was established, and in 2011, Welfare and Health Center was established. In 2015, the renovated Kodomo-no-Kuni Children's Center and Kamitoda Community Exchange Center (Ipal) opened.

进入平成时代以后

现在、戸田市正致力于建设宜居城市。2001年，社区巴士“toco”开始运行。2010年和2011年分别开设了“户田公园站前行政中心”和“福祉保健中心”。2015年，儿童活动中心“儿童国”经改建后重新开放，并设立了“上戸田地区交流中心”。

戸田市では、都心へのアクセスのよさを背景に人口増加が続いており、平成28(2016)年7月の時点で13万6千人以上が暮らしています。市では、暮らしやすいまちづくりに取り組み、平成10(1998)年には「戸田市都市マスタープラン」を決定し、まちづくりの方針を固めました。

市民の利便性を高めるために、平成13(2001)年には市内各地を走るコミュニティバス「toco(トコ)」の運行を開始しました。また、市民サービスの拡充にも力を入れており、平成22(2010)年には「戸田公園駅前行政センター」を、平成23(2011)年には「福祉保健センター」を開設。そして平成27(2015)年にはリニューアルした「児童センターこどもの国」、「上戸田地域交流センター(あいパル)」をオープンしました。

住みよいまちの実現へ